

業界特有の長時間労働から脱却し、 経営理念をもとに社員が幸せになる会社づくりを実践

金井大道具 株式会社

会社概要

設立：1964年
 所在地：東京都中央区新富2-8-1 キンシビル
 資本金：2000万円
 従業員数：195名



歌舞伎舞台・多彩な演劇舞台、イベント空間やテレビ番組セットなどのデザイン・設計・大道具、美術製作・設営、施工管理・装飾を行っています。長い歴史を刻みながら、今もなお伝統を守りつつ時代に合わせた創造を続けています。

社員が健康でやりがいをもって働ける環境を作りたい



代表取締役社長
金井 勇一郎

会社の利益を「人」に投資していこうと考え、働き方改革から社員の健康管理まで、さまざまな取り組みを行っています。

業界特有の長時間労働や、早朝深夜の作業も多く過重労働が続く。しかも売上第一主義。働きすぎで体調を崩す社員を守るため、金井大道具株式会社は働き方の対策をいち早く講じました。どのような取り組みで会社と社員を守っているのでしょうか。管理本部 経営管理グループの鴨志田課長にお話を伺いました。

この記事のポイント

- ① 長時間労働・深夜残業を当たり前と考える風土からの脱却
- ② 理念を共有することによる社員の意識変化
- ③ 働く上でのこころとからだを第一と考える

理念を共有して社員の気持ちを一つに

社内にどのような問題があったのでしょうか？

大道具を製作する会社なので、テレビ局から夜中に発注が来たり、打ち合わせをしたりして、長時間労働や時間外労働が多くなりがちでした。百貨店などのイベント設営は、閉店後から翌日の開店までの時間に仕込まなければなりませんし。この業界だから仕方がないと思いながらも、負担を感じていた社員は多かったと思います。

会社に変化が訪れたのは？

社長である金井が「働き方の見直し」をいち早く考えたことが大きな変化でした。働き方改革で業務の効率化の見直しを重要視したので、その働き方改革を経営理念に落とし込めないかと考えていました。社員全員に意識をもってもらうと経営計画を発信したり、新たに理念を掲げたりと試行錯誤を繰り返しました。このような行動で、一番は社長の意識がどんどん変化していったことが大きなきっかけとなったのではないのでしょうか。ただ当初、社員はあまりピンとは来ていませんでした。しかし、社長の熱意と行動により、社員はだんだんと自分のこととして考えるようになりました。私はちょうどそんな変革の時期に身を置いていたということもあり、経営管理グループに所属する者として何をすれば社員が働きやすい企業だと思うのか、など日々考えるようになりました。



管理本部 経営管理グループ 課長
鴨志田 愛



理念浸透の重要性

理念浸透とは、企業が掲げるビジョンやミッションを社内全体に浸透させることです。社員に長く愛される企業であり続けるためには「理念浸透」が欠かせません。

企業理念や経営理念を浸透させることで、エンゲージメントやパフォーマンスの向上も期待できるでしょう。



独自のキャラクター作りで団結力を

また小さなことではありますが、金井大道具には、ゆるキャラがいます。部署ごとにわかれていて、その名も「KANAI レンジャー」。このキャラクターのおかげで、どの部署がどのような業務を担当しているのかがわかりやすくなりました。例えば「ズノー」というキャラクターがありますが、これはプロジェクトチームの公式キャラクター。道具やスケジュールなど、金井大道具の頭脳（ブレイン）という役割を担っています。

このように、それぞれのキャラクターで各チームの特色を紹介しています。部署が違っても、なかなか他の部署が何をしているのか見えないものです。こちらは忙しいのにあの部署は何をしているのだろうか、業務内容が明確になれば会社全体で仕事をしているという気持ちが生まれますので、以前よりも団結力が高まりました。とにかくあらゆる情報共有を社員みんなで楽しくしています。このように一つ一つのクオリティが高いのは、製作会社ならではのですね。逆にこのような活動が会社のいいPRにもなっています。

製作

作って遊んで創りまくる！
木工加工が犬の得意！演劇・テレビ・イベント、なんでもこい！**な万事屋**☆
寡黙だけど、心満点（1-10）な情熱良心者（イェスヒューズ）！

美術

塗ったり描いたり盛ったり削ったり…背景の底（底）☆演劇・テレビイベント、ホームページ☆！独創も模倣もお手の物！籠っちゃうこともあるけれど、共鳴すれば怒濤のごとし！すべてを七色に染め上げるのが夢！？

プロジェクト

道具・スケジュール・お値段など…会社担当宙的解析で現場を網羅し交渉・段取りを行う！金井の頭脳（ブレイン）ここにあり！！皆を繋ぐ大事な要。現場近くの美味しいお店にも詳しいみたい！？

管理

健康・人材・財務と幅広く管理し、コンプライアンスにも細かく対応できちゃう！さりげなく皆を守る強くて優しい騎士（ナイト）☆兜の中は笑顔専用（スマイル・フラグ）？！

社員のこころとからだの健康づくり

——— どのように健康管理をしているのですか？

金井大道具ではこのような活動の他にも、ここで働く魅力の一つとして健康面のサポートを積極的に行っています。社長自らが、メンタルヘルスマネジメントの勉強を始め、I種の検定試験に合格しました。健康管理の必要性を改めて実感し、業界特有の働き方を改善して、健康経営を打ち出しています。



「健康だより」

かつては、メンタル面の問題から不調をきたす社員も多いという現実がありました。そこで、働くうえでこころとからだを第一だと考え、定期健康診断はもちろん、事後措置として血液検査を会社負担で実施しています。ストレスチェックや健診、面談など、必要に応じたサポートや、また衛生管理にも努めています。さらに、健康だよりを発行することで、受診そのものを促すような発信も行っています。また新ルールとして健康維持に寄与する治療やマッサージなども福利厚生範囲内としています。社員が自ら健康への意識を高めてくれたらという思いがあつての取り組みです。

「自社のような製作業はとくに、体に負担をかける業務内容も多いので、普段から自分の体と向き合っケアをしながら過ごしてほしいですね。」と鴨志田課長と一緒に人材育成を担当している米田課長。



管理本部 人材育成グループ 課長 米田 晋吾

好きなことを共有している感覚

——— 理念の共有で社員の皆さんに変化はありましたか？

同じベクトルで進んでいる感覚が生まれるという声をいただいています。あとは、やはり「何かを作ること」に興味がある人が多いので、理念の共有も製作に関連付けることで、楽しみながら前向きに取り組めるようです。

好きなことほど率先してやりたいと思えるのが人なので、物づくりをしながら理念への理解を深めることで、理念浸透のスピードも上がってくると感じています。



Message

会社が明るくなって生産性も向上

今まさに社員に対して取り組みへのヒアリングを実践している最中で、社員一人ひとりの本音を聞き出しています。会社の利益は「人」が生み出すものです。いかに働きやすくやりがいをもって心身ともに健康に業務に励んでいくべきか試行しています。金井大道具は、働く社員の声に耳を傾け、寄り添い、心理的安全性の高い職場づくりを目指していきます。

小さな取り組みを丁寧に実践することで、働きやすい会社になり離職率も低下しました。何より社員の製作意欲と団結力が増して元気になりました。売上も大切ですが、社員を想い、こころとからだの健康を大切にすることが、生産性向上と利益確保につながります。人のやる気が生み出す力は計り知れません。今後も社員のモチベーションを保つべく、さまざまな取り組みを実践していきます。